

一般社団法人日本歯科医学会連合 令和 7 (2025) 年度事業報告書

1. 理事会開催：8 回

第 1 回理事会（令和 7 (2025) 年 6 月 11 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 令和 6 (2024) 年度事業報告に関する件
- 2) 令和 6 (2024) 年度決算に関する件
- 3) 令和 7 (2025) 年度定時総会招集に関する件

第 2 回理事会（令和 7 (2025) 年 6 月 30 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 理事会選任の次期役員（理事）に関する件
- 2) 次期役員（理事）選任に関する件

第 3 回理事会（令和 7 (2025) 年 6 月 30 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 理事長の選出に関する件
- 2) 副理事長の選出に関する件
- 3) 専務理事の選出に関する件

第 4 回理事会（令和 7 (2025) 年 9 月 19 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 将来構想推進委員会規程の一部を改正する件
- 2) 政策連携渉外委員会規程の一部を改正する件
- 3) 医療職連携委員会規程の一部を改正する件
- 4) 大型研究推進委員会規程の一部を改正する件
- 5) 委員会委員等の選任に関する件

第 5 回理事会（令和 7 (2025) 年 10 月 9-10 日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 委員会委員等の選任に関する件

第 6 回理事会（令和 7 (2025) 年 12 月 12 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 一般社団法人日本 CST 監理・支援機構入社に関する件
- 2) 令和 8 (2026) 年度事業計画（案）に関する件
- 3) 令和 8 (2026) 年度予算編成（案）に関する件
- 4) 臨時総会招集に関する件
- 5) 顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断研究課題募集に関する件
- 6) 歯学系学会集合体組織検討ワーキンググループ（仮称）設置に関する件

第 7 回理事会（令和 8 (2026) 年 3 月 6 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 令和 8 (2026) 年度事業計画（案）に関する件
- 2) 令和 8 (2026) 年度予算編成（案）に関する件
- 3) 歯学系学会集合体組織に関する件

第 8 回理事会（令和 8 (2026) 年 3 月 27-31 日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 会員種別に関する規程，賛助会員名簿変更に関する件

2. 総会開催：2 回（定時総会 1 回，臨時総会 1 回）

定時総会（令和 7 (2025) 年 6 月 30 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 令和 6 (2024) 年度事業報告に関する件
- 2) 令和 6 (2024) 年度決算に関する件
- 3) 第 6 期理事の選任に関する件

臨時総会（令和 8 (2026) 年 3 月 13 日）（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

【承認された議題】

- 1) 令和 8 (2026) 年度事業計画に関する件

3. 事業

- 1) 将来構想推進委員会

日本歯学系学会協議会より歯学系学会集合体の将来に向けた協議を開始するよう申し入れがあり、これらの検討を行う場として、当法人と日本歯学系学会協議会との合同委員会を設置する。そのため、当委員会に日本歯学系学会協議会との連携を検討するワーキンググループを設置し、委員長を当委員会の羽村 章先生、委員を横山敏秀先生の 2 名とし、当法人と日本歯学系学会協議会との合同委員会へ出席していただく。

合同委員会には、日本歯学系学会協議会より 2 名が選出された。

（委員会開催）

第 1 回：令和 7 (2025) 年 12 月 3 日（オンライン）

（商標登録展開ワーキンググループ）

子どもの口腔機能発達支援のマスコット、「ハミルちゃん」（ハビルちゃんの妹）の商標登録が承認（特許庁）された。

これらのマスコットを活用し研修会の開催を企画した。ハビルちゃんは口腔機能発達支援のキャラクターのため、健常児（定型発達児）のみを対象としたキャラクターではなく、障害児も含めた口腔機能の発達支援のキャラクターという位置づけとする。

ハビルちゃん視点で、成人期以降も口腔機能発達不全が継続し口腔機能に及ぼす支障や影響、そのまま口腔機能低下症へ移行すること、テーマに入れることなど。また、医療的ケア児の口腔機能発達支援を取り取り入れるなど引き続き検討とした。

（委員会開催）

第 1 回：令和 8 (2026) 年 3 月 3 日（オンライン）

（顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ）

「口内法デンタル X 線画像から顎骨の骨密度を計測するソフトウェアを利用した研究課題」の募集を「顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ」を発足し令和 3 (2021) 年度より新規事業として開始した。令和 7 (2025) 年度においては、令和 3 (2021) 年度研究課題の成果物 2 件、令和 4 (2022) 年度研究課題の成果物について 1 件および令和 5 (2023) 年度研究課題の成果物 1 件の審査を行い研究助成金の支払いを行った。

（委員会開催）

第 1 回：令和 8 (2026) 年 2 月 4 日（オンライン）

（歯学系学会集合体組織検討ワーキンググループ）

第 1 回歯学系学会集合体組織検討合同会議が開催され、当法人および日本歯学系学会協議会の両団体による共同体の構築を進める方向で整理された。これに伴い当法人の定款の見直しが必要となることから、その作業を進めることとなった。

（合同会議開催）

第 1 回：令和 8 (2026) 年 2 月 12 日（会場）

2) 企画広報委員会

メーリングマガジンの編集、発行スケジュールについて検討。当法人の会員に対する情報発信を的確に行う「歯科オンライン診療の初診に関する提言」、「美容外科医による不適切行為に関する共同声明」など、国民生活に影響を及ぼす内容について速やかに掲載しました。

(委員会開催)

第1回：令和7(2025)年10月29日(オンライン)

3) 大型研究推進委員会

令和8年度に実施する第9回大型医療研究推進フォーラムについて企画を行った。また、昨年度実施した「歯科医療の未来を拓く研究開発戦略」について、報告書をまとめることとした。

(委員会開催)

第1回：令和7(2025)年12月1日(オンライン)

第2回：令和8(2026)年3月27日(オンライン)

4) 国際活動委員会

「国際学術交流・連携の現状と課題」をテーマに国際活動委員会フォーラム2026を令和8(2026)年3月25日から4月30日までオンデマンド配信した。講師(細川隆司, 小川祐司, 林美加子)の講演後、国際活動委員会委員も加わり総合討論が行われた。

国際活動委員会フォーラム2026

テーマ：国際学術交流・連携の現状と課題

開催形式：オンデマンド(令和8(2026)年3月25日-4月30日)

演題：国際学術交流・連携の現状と課題-グローバルな学術活動をどう展開すべきか-

講師：細川隆司(国際活動委員会委員長, 九州歯科大学名誉教授)

演題：FDI(国際歯科連盟)の現状と課題：国際歯科界の動向と日本への影響

講師：小川祐司(日本歯科医師会国際渉外委員会委員長, FDI理事, 新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野教授)

演題：IADR/JADRを通じた歯科医学の国際活動の展望

講師：林美加子(JADR会長, 大阪大学理事・副学長)

受講者：131名

(委員会開催)

第1回：令和7(2025)年11月20日(オンライン)

5) ICT活用委員会

オンデマンド研修システムの貸出について、会員学会に対しニーズ把握のためのアンケートを実施した。回答内容を分析した結果、継続的な運用にあたっては、使用料・閲覧料等の設定やコンテンツ作成の在り方について検討する必要があるとされた。

(委員会開催)

第1回：令和8(2026)年1月9日(オンライン)

6) 医療問題に関わる調査研究等の事業については、以下の委員会が担当し実施した。

① 政策連携渉外委員会

「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」に関する課題で、7課題を採択した。

課題報告書と論文は、関係諸団体に提出する資料の学術的根拠として活用される。

(委員会開催)

第1回：令和7(2025)年5月30日（ハイブリッド形式：会場-オンライン）

② 医療職連携委員会

歯科衛生士が求める専門性に関するアンケート調査を実施するために、日本歯科衛生士会において調査された勤務実態調査についても活用させていただき、アンケート調査の実施に向け検討を行うこととされた。歯科技工士学術活動支援ワーキンググループおよび歯科衛生士学術活動支援ワーキンググループの活動が報告された。

（委員会開催）

第1回：令和7(2025)年11月18日（オンライン）

第2回：令和8(2026)年2月27日（オンライン）

（歯科技工士学術活動支援ワーキンググループ）

令和8(2026)年3月14日（一社）日本歯科技工学会と「令和7(2025)年度第2回専門歯科技工士講習会」をオンラインにて実施した。

令和8(2026)年3月14日

令和7(2025)年度第2回専門歯科技工士講習会

主 催：一般社団法人日本歯科技工学会

共 催：当法人（日本歯科医学会連合）

開催形式：オンライン

演 題：エンドクラウンの歯科技工

講 師：一志恒太（福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室）

受講者：66名

（歯科衛生士学術活動支援ワーキンググループ）

歯科衛生士が求める専門性に関するアンケート調査の実施について検討された。歯科衛生士の認定資格や専門資格獲得を啓発するワークショップの開催について検討された。

（委員会開催）

第1回：令和7(2025)年11月14日（オンライン）

第2回：令和8(2026)年2月16日（オンライン）

③ 臨床研究支援委員会

これまでの臨床研究支援委員会活動を「臨床研究支援委員会の活動について」として報告書を作成し、学会連合ホームページに掲載した。

令和8年度臨床研究支援委員会フォーラムについて、改定された臨床研究法の内容や骨補填材等をテーマとして実施する方向で検討が行われた。

（委員会開催）

第1回：令和7(2025)年11月10日（オンライン）

7) 医療安全に寄与する事業として、医療安全調査委員会が以下の事業を展開した。

（公社）日本歯科医師会と連携して令和7年度医療事故調査制度研修会を令和8(2026)年2月24日から3月13日までオンデマンドにて実施した。また、令和8(2026)年3月13日に開催された一般社団法人日本医療安全調査機構の協力学会説明会に星野委員長がオンラインで出席した。

（委員会開催）

第1回：令和7(2025)年11月26日（オンライン）

8) 出版事業

令和 7 (2025) 年 12 月 27 日に「日本歯科医学会連合雑誌第 4 巻」を発行し、各論文の電子版を科学技術情報発信流通総合システム (J-STAGE) に掲載した。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjdsf/-char/ja>

(和文誌編集会議開催：日本歯科医学会連合雑誌)

第 1 回：令和 7 (2025) 年 11 月 19 日 (オンライン)

令和 7 (2025) 年 5 月 16 日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2025 Volume 24 Issue 1」を、令和 7 (2025) 年 11 月 18 日に「Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD)- 2025 Volume 24 Issue 2」を発行し、各論文の電子版を科学技術情報発信流通総合システム (J-STAGE) に掲載した。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/apjod/>

4. 渉外活動

1) 一般社団法人日本 CST 監理・支援機構設立

ご遺体を使用した臨床医学の教育と研究 (Cadaver Surgical Training) の適正な普及を目的とし、ガイドライン等の整備、実施の評価、指導等を行う法人設立について協議を行った。法人設立にあたり、事業実施の主体となる学会 (日本外科学会、日本解剖学会等をはじめ、日本口腔外科学会、日本口腔インプラント学会等) を社員とし、日本歯科医学会連合および日本医学会連合は、CST 事業全体を監査・監督する立場として監事を選出し、一般社団法人日本 CST 監理・支援機構の理事会に参加する団体となる予定で進められている。

(CST 事業の法人設立準備委員会合同委員会)

第 4 回：令和 7 (2025) 年 4 月 17 日 (オンライン)

第 5 回：令和 7 (2025) 年 9 月 30 日 (オンライン)

第 6 回：令和 7 (2025) 年 12 月 22 日 (オンライン)

第 7 回：令和 8 (2026) 年 1 月 14 日 (オンライン)

2) 日本学術会議

日本学術会議のアクションプランの推進やより良い役割発揮に当たり、第二部と生命科学系の学協会連合との連携を強め、情報交換及び意見交換を行う場として、「生命科学系の学協会連合体との円卓会議」が設置され日本学術会議と学協会連合体との意見交換を行った。

(生命科学系の学協会連合体との円卓会議)

第 2 回：令和 7 (2025) 年 8 月 30 日 (オンライン)

事業報告の附属明細書について

令和 7(2025) 年度事業報告には、一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。